

# (ニニ通)

令和2年11月

vol. 103



## ココ、トテモオチシキマスネ??

先日、事務所に相談に来られたお客様が帰り際におっしゃった言葉。

カタコトの日本語がより一層うれしい気持ちにさせてくれました。

来店される方はみな、将来の相続に向け、または相続発生後の手続きについて、何からかの心配ごとがある方ばかり。そんな皆さんの心が少しでも落ち着きますように…

そんなことを願いながら備品などを揃えていきました。

机、椅子、床タイルカーペット、カーテン、蛍光灯、パーテーション etc

(まほほほ妻の意見を採用したのが良かったのでしょうか?)

当社ではお客様の気持ちに寄り添い、丁寧なヒアリングをじがけています。

そして必要に応じて各専門家と連携をとりながら、お客様の不安が安心に

変わるまでをサポートいたします。心配ごとがあればお気軽にご連絡下さいね。



## 和顏施 ～わがんせ～?

「勝裕さん、こちらへどうぞ」

いつも笑顔で手招きしてくださる、僕の尊敬するK社長。

先日、話の流れで「和顏施(わがんせ)」の話をしてくれた。その仏教用語を初めて聞いた僕。

「笑顔を人にほどこすこと。誰を見てもにっこりしていること。

そうすると相手は『自分のことを好きで笑顔を見せてくれる』と思う。

これはね、お金も物もいらない。ただ(こことすればいいだけ)。

和顏施は人を気持ちよくさせる。相手に笑顔を施すことが1つの徳になる。

幸せや人は笑顔に集まってくるよ。きっと仕事も同じだよね。

そして、何があても怒らないこと。

たとえ怒りと言ひ負かしたとしても後味が悪い。

和顏施と怒らないこと。僕もながなができないんだけどね。」

と言いながらK社長は穏やかな笑顔を見せてくれました。

「他の人にはこんな話しないんだけどね。勝裕さんにはついしてしまう。」

人生の大先輩であるK社長との時間。心温まるありがたい時間になりました。

と同時に思いました。今年仲間に言ひ始めた言葉。

「運転中に勝裕さんを見つけて、『かっぴろさん』って声かけようしたら、すごい恐い顔で電話して下ろした窓をとのま閉めました。」って

和顏施と怒らないこと、僕のテーマになります。できなかつたら注意して下さいね。

